

質 問 書

2021 年 6 月 9 日

「全世界 2021 年度案件別外部事後評価:パッケージ1-2(スリランカ、フィリピン)(QCBS)」

(公示日:2021 年 6 月 2 日/調達管理番号:21a00162)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P15 (2)安全配慮と現地調査範囲	いずれの評価対象事業の現地調査範囲にも受益者などを対象とする定性調査実施の指示がありません。実施は想定していないということでしょうか。	ご理解のとおりです。
2	P16 2)スリランカ:国道主要橋梁建設事業	本事業の審査調書 P19 には、運用効果指標の(注)に「事業開始以後 対象橋梁毎に指標を設定する予定。」とあります。事業事前評価表にはこの記載はありません。対象橋梁毎に運用効果指標が設定されたかどうか、それは何であったか、教えてくださいませんか。	事業開始後にも橋梁ごとの運用効果指標を確認できるものはなく、結果として設定されなかったと認識しています。
3	(p.17) 4)フィリピン:ラワン市及びマラブット市行政調査再建計画・台風ヨランダ災害復旧・復興計画(一体評価・詳細分析)	業務従事者が踏査すべき事業の①～⑨に、「東ビサヤ地域医療センター外来診療棟建設計画(EVRMC)」が含まれていないようですが、踏査しないことを想定されていますか。	当該 P. 17 4) 内記載②を「②地域医療保健所 5 サイト(レイテ州 3 箇所、サマル州 2 箇所)」に修正します。「東ビサヤ地域医療センター外来診療棟建設計画(EVRMC)」も含めてください。
4	P18 (3)ローカルリソースの活用	本件業務で現地にある弊社の子会社の職員を現地調査補助員として雇用することは契約上問題ありませんか。	現地(子)会社の従業員を特殊傭人として二重に雇用することになりますので、これは了承いたしておりません。

5	(p.19) (5) 詳細分析:「主観的な振り返り」	詳細分析の結果のまとめ方(分量・形式)について。どの程度の分量で「起承転結」をまとめることを想定されていますか。また、それは評価報告書 20 頁の一部に含まれますか。	詳細分析:「主観的な振り返り」については、報告書の「5. ノンスコア項目」→「5.1 適応・貢献」→「5.1.2 主体的な観点による振り返り」に記載頂くことを想定しています。分量は 1-2 ページ程度、20 ページに含むことを想定しています。
6	(p.23) 業務従事者の構成	①業務主任者／プロジェクト評価 1 の格付は 3 号でお間違いないですか。	間違いありません。
7	(p.26) 見積書	(5) 詳細分析のための国内移動に係る経費は見積もり対象となりますか。	詳細分析のための国内移動は特段想定していません。国内でのインタビューを行う場合は、オンラインでの実施をご提案ください。
以上、6/8 までの接到分			

以 上